

米沢興讓館高校SSH通信

米沢興讓館サイエンスフォーラムin山大・米沢興讓館国際探究フォーラム

7月9日(水)、米沢興讓館サイエンスフォーラムin山大が山形大学工学部11号館有機システムフロンティアセンターを会場に開催されました。3年生理数探究科およびコアスーパーサイエンスクラブの3年生が英語によるポスター発表と、質疑応答を行いました。また、同日、米沢興讓館国際探究フォーラムも開催され、3年国際探究科生徒がこれまで行ってきた研究活動について、大学講師や外国語指導助手、国際交流員などを交えた場において英語で発表を行いました。

「米沢興讓館サイエンスフォーラム」を終えて

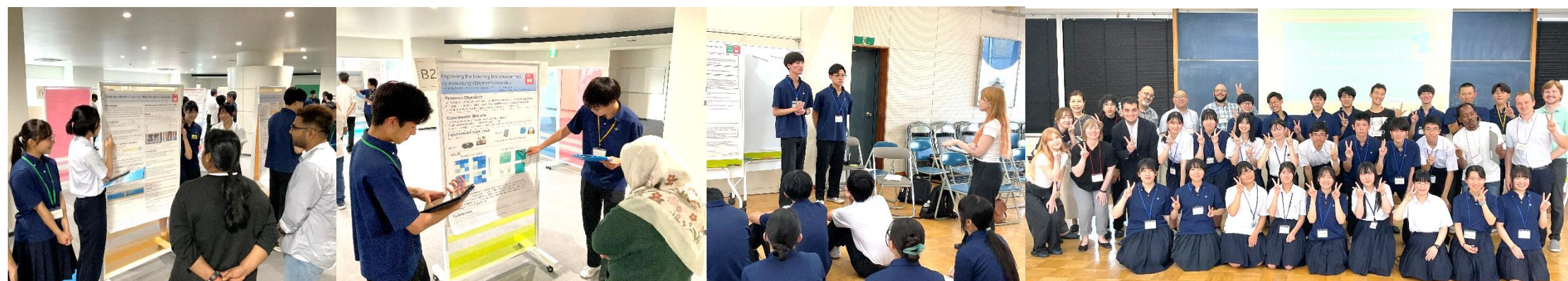
3年 男子生徒

私は、7月9日に山形大学工学部で行われたサイエンスフォーラムに参加した。研究活動の成果を英語で発表するというSSR(スーパーサイエンスリサーチ・課題研究)の集大成となるイベントである。

私は一人での発表であったため、7分間もの間英語を喋り倒さなければいけないこと、質問の内容を正確に聞き取り返答することが求められた。加えて、私は英語が頗る苦手であるため、本番まで緊張した日々を送っていたように思う。

本番は2回の発表があり、いずれも満足できる発表ができた。質問については、テンソルについての説明を除けば予想質問の通りで上手に受け答えができたように思う。また最後に大学院生の方々の発表を聞き、そのレベルの高さを思い知らされた。

私は、研究者を志しており今回のサイエンスフォーラムは非常に有意義な機会になった。この経験を生かし、将来、国際的に活躍できる人材になりたい。



1学年 異分野融合サイエンス(FS)コース別講義・研修

FSとは、フュージョンサイエンス(Fusion Science)の頭文字で、1年生を対象とした学校設定科目「異分野融合サイエンス」です。

全教科が協力し、様々な学問領域を融合させ、大学や研究機関等と連携を図りながら体験的な実験講座や演習等を行っています。

1年間をA期とB期に分け、①地域振興とデータサイエンス、②人文学とサイエンス、③教育と科学、④ライフサイエンス、⑤機械・エネルギー工学と社会、⑥デザインと工学、⑦マテリアルサイエンスと人間生活、⑧バイオ産業科学と社会課題、⑨医療の最先端の9コースの中から2つのコースを選んでいきます。

A期第1回目のFSが6月10日(火)に、第2回目のFSが7月10日に行われました。



内水面水産研究所を見学して

1年 女子生徒

今回は、米沢市内にある山形県内水面水産研究所を見学し、ニジサクラについてのお話をうかがいました。ニジサクラとは、ニジマスとサクラマスをかけ合わせた、ご当地サーモンと呼ばれる新たな魚です。このニジサクラは染色体の操作によって、より美味しくなるように研究されてきました。研究所では、親となるニジマスやサクラマスを含めた、様々な魚が管理されていました。

今回の講義を聴講するまでは、バイオ産業は自分とはあまり関係がないものだと考えていました。しかし、講師の櫻井克聡先生の「消費者のニーズに応えることも、バイオ産業科学が解決していく必要がある社会課題のひとつである」という言葉を聞いて、バイオ産業が身近なものだったと気づきました。私は今後、身の回りにおけるバイオ産業によって解決できそうな課題について考えたいと思います。



231

山形県立米沢興讓館高等学校SSH事務局

URL <https://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/index.php> Email yonekojo@pref-yamagata.ed.jp
〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101番地 Tel 0238-38-4741 (代表)

